

公益社団法人埼玉県理学療法士会
令和3年度第5回拡大理事会議事録

1. 開催日時：令和3年11月16日（火）19：16～22：08

2. 会場：インターネット会議

3. 理事現在数及び定足数

理事現在数 19名 定足数 10名

4. 出席理事数 19名

出席理事：南本浩之、岡持利亘、水田宗達、田口孝行、原田慎一、渡邊雅恵、横山浩康
茄子川知浩、兵頭甲子太郎、赤坂清和、三宮将一、阿久澤直樹、櫻場勝、吉川貴矩
宇野潤、真下和貴、菊地裕美、乙戸崇寛、渡邊賢治

欠席理事：なし

5. 監事現在数及び出席監事氏名

監事現在数 1名

出席監事：清宮清美

欠席監事：前園徹

6. 出席部長・エリア長・委員長

知久逸平、塚田陽一、渡邊孝広、中島智博、藤崎圭哉、柳田千絵、大塚修、馬場裕之、前園佑貴、菅野岳、遠藤浩士、荒木心太、木勢峰之、駒井敦、西尾尚倫、石井貴朗、村田佳太、佐々木洋平、倉林泰士郎、飯塚浩二、坂田修、榎本隆、原和帆、横山秀則、安本誠志、長島秀幸、米澤隆介、中島浩二、金子佳弘、飯塚雄大、平野輝利人、田村大志、本宮光信、矢野秀典、國澤洋介、中野克己、大隈統、吉田和正、原嶋創

7. 出席部員

笹野雄二、前原亜紀、野口雄平（書記）

8. 議長の氏名

南本浩之

9. 議題

<計画内審議>

【職能委員会】埼玉県理学療法士会主催事業開催基準について

<計画外審議>

なし

<報告事項>

【事務局】LINEWORKS 審議について

【財務局】令和3年度財務状況について

<その他>

令和4年度事業計画シートについて

令和4年度重点課題について

10. 理事会の議事の経過の要領及びその結果

(1) 定足数の確認等

冒頭、本理事会はインターネット会議のため出席者の通信状況を確認し、問題なく進行できることを確認した。また、議長が定足数の充足を確認し、本会議の成立を宣言した。

また、湯本日本理学療法士協会理事、森島東京都理学療法士協会会長、が傍聴することを確認した。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

<計画内審議事項>

【職能委員会】埼玉県理学療法士会主催事業開催基準について

議長の求めに応じ、職能委員会担当理事の渡邊から資料に基づき埼玉県理学療法士会主催事業開催基準についての説明があった。

上記の説明に関連して、次の質疑応答があった。

乙戸：開催基準の案についてですが、国のステージについては1が低く、ステージ4が高くなっているのでは合せての方が良いのではないかと。また、ステージと言うのが適切なのかなと思う。不織布のマスクが条件になれば良いのではないかと。

渡邊賢：ステージは協会のを参考にしているのでステージ1が感染度としては高く、ステージ4が低くなっている。しっかりと誤解がないように独自なものでもよいと思う。マスクの件も検討していく。

赤坂：県士会の主催は幅が広いので、対象者が理学療法士や高齢者、一般の方などが対象になってくる。理学療法士であればワクチン接種しており、感染の知識がある方が対象になる。また、高齢者が対象の場合には重症化しやすいと思う。参加者についても規定をつくる必要があるのでないか。講師の行動についての感染対策があると思うが、参加者に対しても感染対策を示す必要があると思う。

渡邊賢：これは標準的なものになると思う。事業を企画している担当者が全て決めるのは大変だと思う。例えば実技系や会員の対象とする研修会や会員外の研修会、一般を対象にする研修会などの基準が作っても良いと思う。また、開催会場においても対応の仕方が変わってくる。参加者に対しても感染対策については促していく必要があると思う。今後検討していく。

茄子川：一般の方に向けた研修会もあるので対象者の基準も作ってくれとありがたい。主体としての方針がある事で現場でも対応しやすくなると思う。

渡邊賢：実技系の開催についても今後検討していければと思う。ステージ内容についてはいかがか。これを基準に行動していく事についてはどうか。ステージ表記はすべきなのかはどのように考えるべきか。

阿久澤：参加人数の根拠が難しいと思う。部屋の広さなどで変わってくると思う。人数表記は記載しなくても良いと思う。

渡邊賢：人数表記については協会のを参考にしている。数字の根拠はどうなっているか不明です。しかし、何か目安になるものを記載しておかないと無制限になってしまうと思う。

阿久澤：県士会の人数としてはこのぐらいが多いので目安としては良いと思う。

茄子川：ステージが明記されていると対応しやすく良いと思う。部屋の大きさについては平米数あたりの対応人数などがわかると良いと思う。

米澤：ステージについてですが、国や埼玉県ステージとリンクしていますか。

渡邊賢：特にリンクはしていない。三役がこれを判断する形になっている。

米澤：埼玉県のステージがいくつであれば県士会のステージがいくつにするなど決めると良いかと思う。人数に関しては、貸す施設側も人数制限をかけてくると思うので、基本的にそれに従って行う形で良いと思う。

櫻庭：計画した段階でとなっているが先が読めない事だと思う。したがって細かく決め過ぎなくても良いと思う。

渡邊賢：企画自体は審議を通るのは1~2か月かかり、ここで感染状況が変わってくる事も多いと思う。会員がステージに準じて研修会を行っている事を理解していると良いと思っている。規約に準じて勉強会を対面に行う事からリモートに変える事に対しての根拠になると思う。

原田：県民などの一般の方が参加する研修会については、感染対策の書類や何かあった際の連絡方法などを書面として渡す形でも良いと思う。また、何か同意書に同意してもらうのも良いと思う。

渡邊賢：各事業者でのアイデアを取り込んでいければと思う。

中島：ブロックの研修会は病院をお借りしての研修会が多かったが、当面の間、病院はお借りしないスタンスでの研修会という認識でよいか。

渡邊賢：施設者の判断に任せる形になると思う。病院側が行って良いと承諾が下りた場合は良いと思う。

渡邊雅：東京都士会ではステージの更新時期や緊急の時にステージの変更はどのように行っているのか教えて頂きたい。

森島：東京は同じようなステージを作成している。更新時期は自分が発信して三役会議にてステージを変更している。少し後手になる事もある。ベースが三役会議にて変更している。

渡邊雅：三役会議の頻度を教えてほしい。

森島：三役会議は月1回行っている。ステージ変更の時はメールでやり取りをしながら決めている。会議自体を運営して判断すると後手になると思う。メールなどでの連絡がメインになっている。ステージに関しては県士会のものと同じではあるが、どちらが良いかは不明である。

南本：会長発信では後手になりやすいと思う。

渡邊賢：ベースを作成できればと思っており、ワクチンに関しては取り入れていない。そこに関してはご理解頂ければと思う。

南本：これらの意見を踏まえて検討を。LINEWORKS や12月の理事会で議論ができればと思う。

引き続き継続審議されることになった。

<報告事項>

【事務局】 LINEWORKS 審議について

【財務局】 令和 3 年度財務状況について

<その他の事項>

令和 4 年度事業計画シートについて

【事務局】

総務部

知久：公文書の作成や事務局会議、県の補助金の申請などを行っている。補助金申請業務や県庁への電子申請業務は事務の平井さんに委託している。補助金の申請については現在マニュアル作成を行い、平井さんの業務に漏れがないようにしている。

庶務部

塚田：庶務部は例年通り行っている。LINEWORKS は使用がしにくいなどの意見もあるため、新たなグループウェアなどの検討が必要と考える。しかし私自身がそれほど詳しくないため変更を検討する場合は専門の委員会を設置して検討した方がよいと考えている。意見聴取システム庶務部として手が回っていない現状。新たに担当理事と委員長が配置されたので協力しながらできればと思う。定年を迎えた会員に関する調査についても手が回っていない現状。可能であれば専門の委員会を設置し行って頂ければと思う。

総会運営部

水田：今年度は初めてのハイブリッドで開催を行っている。業者などを利用しながら運営ができている。来年度もハイブリッドで行う予定。提出書類に関しては期限内で来ない事も多く難渋しているため、提出期限内での提出をお願いしたい。

管財資料部

渡邊孝：県士会事務室の整理や書類や物品の管理を行っている。また、他県士会や県士会の議事録の管理を行っている。資料管理に関しては例年通り行えている。今年度は LINEWORKS での備品管理を進めている。また、事務室の看板を外部に委託して今年中には工事が始まるようになっている。

厚生部

中島：会員同士の交流が中心になっている。また、託児室の運営と団体保険を行っている。今年度の事業はほとんど中止になっている。しかし、先日にも新人研修と抱き合わせで新人に対しての歓迎会をウェブで行っている。今後はウェブでも会員同士のイベントが行えればと思う。

労務管理部

藤崎：事務員の方の給料について管理している。労務管理のシステム導入に関しては業者と試験導入に向けて打ち合わせを行っている。実際に使用してみて導入するか検討していければと思う。

水田：庶務部の業務負担が大きく分担などを検討出来ればと思う。

赤坂：来年の総会もリモートで行う形だと思うが、日時などが決まっていれば教えて頂きたい。理事からの挨拶や事業報告を行うのであれば事前に動画を撮影して提出する事を認めて頂きたい。

水田：日程はのちほど LINEWORKS で案内する。動画についても検討します。

【財務局】

出納部

柳田：例年通り事業を行っている。対面での日当金のお渡しが困難になっており、請求書の回収や振り込みなどの各部の会計担当の負担が大きくなっている。インターネットバンキングの利用を提案させて頂いており、2つの委員会で利用が可能になっている。

会費管理部

大塚：未納退会者の推移は今年度 46 名。若い方の退会者が増えている。若い方にも協会に介入する事でのメリットの広報できればと思う。未納に関してはメルマガにて通達していく。また、クレジットカードへの移行を促していきたい。

財務渉外部

馬場：例年通り事業が行えている。源泉徴収票の納付や賛助会員への請求などを行っている。賛助会員については1件新規があった。

【事業局】

茄子川：コロナ下での他職種での共催事業がオンラインや中止になっている。

高齢者福祉部

前園：彩の国リハビリテーションフェスタはオンラインで中高生に向けてお仕事の紹介を行っている。来年度も行っていきたいと思っている。来年度にリハビリテーションフェスタを行う場合にはマンパワー的に不安が残る状況であるため検討が必要だと思っている。先日 ST 士会と共同で失語者に向けた研修は対面式で行っているが無事終了している。ヤングケアラーについても検討中である。

小児福祉部

茄子川：療育研修者の研修と発達障害児・者研修会は動画作成をして2月ごろに動画が配信予定になっている。他団体と合同で実施するものが多いが連携がうまくいかない事も多いので今後対策を検討していく。

健康増進部

菅野：一般公開講座については対面で行いたいと思っている。介護保険者事業所支援はオンラインで準備を進めている。介護予防・健康増進と若年性認知スポーツイベントに関しては中止になっている。

スポーツリハビリテーション推進部

遠藤：例年度通り今年度も企画している。スポーツ支援事業はほとんどが中止になっている。集団におけるストレッチなどは中止している。サポート活動としては搬送や熱中症対応、応急処置などを行っている。スポーツ研修会事業に関しては3つ検討している。現状2つはウェブにて実施予定。With コロナを見据えた形で民間や施設の確保や対面での温度差などがある。今後としては先ほどの書面を用いるなどで検討していきたい。

原田：他団体との交流がある所で苦労がある。各部で情報を共有しながらできればと思う。

【学術局】

理学療法編集部

兵頭：年度末の発行に向けて準備を進めている。それに伴い査読や編集部の記事について誰に書いて頂くかを決定している段階。投稿論文に関しては集まっていないため、周りに声掛けを行いながら行っている。

研究推進部

荒木：3月15日～4月15日の期間で補助金対象の研究を募集している。審査会を行い計7題が承諾されている。応募数が年々増えてきているため、補助予算の増額を検討するのはどうかなどの声も上がっている。今後相談できればと思う。研究サークル事業に関しても進め方など相談できればと思う。

田口：補助金額の増額については検討をお願いします。申請についてはは不備があるため、申請の流れなどの研修会に参加をしてもらいその方たちを対象にするのも良いと思う。

【教育局】

認定・専門研修部

木勢：認定専門研修部では6回の研修会を検討していたが、zoomでの対応になっている。理学療法士講習会についても1件協会から申請する事が出来ている。認定専門については各ブロックで啓発活動ができればと思う。

新人教育部

赤坂：オンラインで厚生部と実施している。

後期研修部

駒井：後期研修部では、症例検討などを順次準備をしていければと思う。

登録・認定・専門理学療法士管理部

赤坂：今年度から設置している。協会から具体的な話しが聞けていない状態です。今後準備を行う。

臨床実習教育部

赤坂：臨床実習の研修について各養成校で実施している。来年度も同様に行えればと思う。

指定管理者研修部

西尾：6月に理学療法士協会と方と意見交換を行っている。領域別に関しては若手の管理者に対しての研修会を実施する方向になっている。

田口：新人教育部に関しては前期・後期研修部、理学療法の登録の管理を進めていく。厚生部との企画が好評であり、来年度も同じような企画を行っていきたいと思っている。会員を増やす意味合いも含めて色々行っていきたいと思う。臨床実習教育部に関しては臨床実習の人数が1000人を超えたため、今後はステップアップ研修会なども行っていければと思う。指定管理

者研修に関してはシンポジウムも好評であったため、今後はワークショップ形式で行っていただければと思う。

【広報局】

広報誌研修部

石井：広報誌の発行事業に関しては一般の県民に向けて広報誌を発行している。理学療法士の啓発ができればと思う。リーフレットに関しては、今年度発行できるように進めていただければと思う。

インターネット管理部

村田：各事業順調に進んでいる。新講習会ウェブサイトは研修会などを掲載できればと思う。SNSに関しては現在マニュアルの作成中です。各部局や委員会でオリジナルなウェブサイトの作成の相談がある。単純なリンクを乗せるなどの固定ページであれば無料で可能であるが、大きい容量などでは有料のウェブページが望ましいことがあると思う。

理学療法士週間推進部

三宮：対面での事業は全て中止になっている。ラジオや動画作成し YouTube にアップや県内のラジオでラジオCMの作成をして流した。次年度も引き続き行っていきたいと思う。

原田：理学療法士週間推進部で部長が交代している。事業局の連携などを早めに行えばと思う。

【職能局】

業務推進部

阿久澤：ダイハツとの共同事業が進んでいない状況。数回ダイハツの担当者に地域の状況と通いの場の再開などの情報提供を行っているが、行政との開催に舵を切っていない状況。定期的に連絡を取りながら準備をしていきたいと思う。地域リハビリの相談窓口体制の構築促進についてですが、業務推進部内で話し合い進めている。今後は他の部局と共同で何かできればと思っている。来年度以降に計画外審議であげさせて頂ければと思う。高齢就労者についての支援なども検討できればと思う。

医療保険部

阿久澤：事業内としては例年通り進めている。来年度に関しては診療報酬の改定になるので研修会などを行えばと思う。

介護保険部

佐々木：今年度介護保険の改定があり、研修会を行っている。介護保険サービスに関しては随時審議にあげさせて頂ければと思う。

地域包括推進部

倉林：OT・ST 協会と共催にて介護予防と推進リーダーの研修会を前期と後期で行っている。地域包括実務研修に関しては1回目が約100名で2回目は11月25日に予定している。

岡持：業務推進部では、新しくケアラー支援が出てきている。そのため、ケアラー支援の視点で相談を受けられるなどのキーワードも計画に入れて頂けていると思う。そのため、業務推進部とケアラー支援の接点をどのように考える事ができるかを検討して頂けると良いと思う。業務推進部は職能局全体の部員の参加のメリットに関しても検討されているので今後も検討をお願いしたい。医療保険部・介護保険部に関しては会員への情報発信の検討・実施をお願いしたい。地域包括推進部に関しては、推進リーダー制度を発展させた形でブラッシュアップ研修を職能局・地域包括推進部で行っているため、引き続きお願いしたい。

【東部ブロック】

櫻庭：啓発活動に関しては全て中止になっている。来年度以降に向けて備品の整備ができればと思う。交流会については、合同で行っている。

北エリア

飯塚：2つの研修会は実施済みです。症例研修会は2月に開催予定になっている。来年度の新生涯学習に向けて開催頻度は増えてくることが予測されている。

中央エリア

坂田：中央エリアでは、研修会をオンラインで3つ予定している。公開講座はオンラインで来年の1月に予定している。公開講座に関しては越谷市の取り組みを紹介できればと考えている。啓発活動に関しては、代替案などを模索している。

南エリア

榎本：12月10日に研修会を予定している。1・2月に関しても研修会や症例研修会を検討している。

櫻庭：中央エリアで運営費が増えてきているのでエリアの分割を検討できればと思っている。

【南部ブロック】

宇野：会議開催や公開講座を各エリアにお願いしています。

県央エリア

米澤：研修はオンラインで実施している。症例検討に関しては症例が集まらない事があり来年の1月に変更している。交流会は参加者が増えなく案を模索している。来年度は、交流会の開催に力を入れていきたいと考えている。

さいたまエリア

中島：5つの事業を予定している。研修会での無断欠席者がおり、今後どのようにしていくか検討が必要である。

南エリア

金子：5つの事業を予定し3つは実施済み。公開講座は「子供のロコモ」として資料配布を予定している。来年度としては横のつながりの強化のため、交流会議に力を入れていければと考えている。

宇野：今年度にブロック連絡委員会が開催され、交流会ではなく交流会議が発足される予定。

【西部ブロック】

吉川：ブロック全体としてはエリア長や部員と会議定期的に行っている。ブロックでは公開講座を対面では難しいため書面での対応で実施している。交流会議は40名程度参加して頂いた。

川越エリア

原：川越エリアでは、4つの事業を計画。2つの研修会は実施済みです。来週に症例検討会を2回に分けて実施予定です。もう1つの研修会に関しても講師と内容は決まっており、日程を調節して審議にあげさせてもらえればと思う。

秩父エリア

強矢：3つの事業を予定し1つは実施済み。オンラインでの開催を行っている。秩父連絡相談会と協力し、会員の意見を聞きながら運営できればと思う。

三芳エリア

安本：三芳エリアでは3つの事業を計画している。研修会は来年の1月に、症例会は12月に予定している。症例検討は初の試み。症例は5題提出されている。

所沢エリア

長島：所沢エリアでは、3つの事業を計画している。予定通り事業を行えている。

【北部ブロック】

真下：各エリアの事業は順調に進んでいる。

東松山エリア

平野：公開講座はzoomで100名参加しています。エリア研修会は2回実施済みです。

熊谷エリア

飯塚：ブロック研修は参加者47名で無事終了した。エリア会議に関しては、参加者が増えている。

深谷本庄エリア

田村：事業は3つ計画。市町村会議はコロナ対策などの意見交換を行っている。

坂戸エリア

真下：研修会はリモート開催で1回実施。

真下：市町村会議が特徴的である。地域とのつながりを目的に行っている。今後は交流会に関しては交流会議として行い、地域の方とは地域会議として行っていければと思う。

【ブロック連絡委員会】

渡邊：各ブロックの特徴を生かしながらベースを作っていければと思う。イベントなどを計画しながらエリア委員を増やししながら横のつながりを持っていければと思う。

【国際スポーツ競技対策委員会】

遠藤：無事に事業を終了している。5・6月にオリンピックに参加して頂ける方の研修会をウェブで行っている。実技研修は中止になっている。来年度は委員会についてのあり方を検討して頂ければと思う。今後はスポーツの支援事業に落とし込んで頂ければと思っている。

原田：今後は広報のご協力もお願い致します。

【関ブロ学会準備委員会】

水田：委員会としては2回会議を行っている。新潟学会では視察を予定していたが、今回は中止になっている。引継ぎ会議があるため、参加する予定。学会のテーマは「理学療法の不変と創造、革新へ」副題は「2050年の理学療法を考える」になった。

【組織運営委員会】

財政基盤検討委員会

本宮：予算案の作成を行う。後日予算案の作成依頼があるので提出をお願いしたい。

表彰委員会

菊地：受賞者の検討を行っていく。今後は理事を10年以上させている方の把握や70代以上の候補者の把握を行っていく。

組織検討委員会

塚田：活動は例年通りです。組織の在り方を理事と検討していければと思う。

運営基盤委員会

菊地：会員の方への意見聴取に関しては、今年度は代表者会議や運営会議で意見の聴取を行っている。聴取中では相談窓口が欲しいとの意見が多くあった。相談窓口に関してはHPで記載させて頂いている。今後は情報収集に偏りが懸念されるためシステムについては検討が必要だと思う。案としてはメルマガなどの活用かと思っている。PR動作などの再生回数などを増やしていきながら情報の収集をしていきたいと思う

選挙管理委員会

菊地：役員改正に伴う役員の選挙の際に対応している。

創立50周年記念式典準備委員会

塚田：記念式典に関してはホテルの方と内容については話している。担当理事と協力しながら行っていく。

【専門性委員会】

学会評議委員会

矢野：病院と学校が交代で開催していたが、現状は難しくなっている。今年度は県立大学、来年度は医学アカデミーと瑞穂会グループになっています。その次は関ブロ学会開催と重なるため県学会は開催せず、その次が日本保健医療大学になっています。委託業者も検討ができればと思っている。

第30回埼玉県理学療法学会準備委員会

矢野：オンラインで準備している。演題募集も終了している。

第 31 回埼玉県理学療法学会準備委員会

矢野：対面も検討している。場所はウエスタ川越で考えており、予約金の支払いをしている予定している。

がんリハビリテーション推進委員会

國澤：診療報酬の算定のための堅守会はオンラインで実施している。来年度も講義部分はe ランニングにして講義部分をオンラインで予定している。広報活動に関しては理事会でアンケート調査の承認を頂いたのでニーズの調査を行えればと考えている。それをもとに研修会の内容を考えていければと思う。アンケート調査に関しては準備が出来次第にメルマガなどで行っていければと思う。県民に対しての活動に関して参加は出来ていないが、HP を活用しながら行っていければと思う。

糖尿病対策委員会

米澤：研修会は1回目が終了になっている。2回目は12月に予定している。県内の糖尿病に関する理学療法士のネットワークを構築する事業に関しては、名簿の使用の許可をやってみたが難しいため独自のものを作成する予定。会員の方への意見聴取に関しては、今年度は代表者会議や運営会議で意見の聴取を行っている。聴取中では相談窓口が欲しいとの意見が多くあった。相談窓口に関してはHP で記載させて頂いている。今後は情報収集に偏りが懸念されるためシステムについては検討が必要だと思う。案としてはメルマガなどの活用かと思っている。PR 動作などの再生回数などを増やしていきながら情報の収集をしていきたいと思う。

装具療法地域連携委員会

中野：今年度から発足。知識の向上や他の職種との連携を持ちながら啓発活動が目的。今年度は4つの事業が計画されている。計画通り事業が行えている。来年度は研修会だけでなく、HP などを使いながらコンテンツを紹介できればと思っている。

学校保健・特別支援教育推進委員会

大隈：研修会を1回行っている。メインはアンケート調査になっている。集計は先月終了している。アンケートをベースに今後活動していければと思う。情報収集事業から情報を収集している。養護教員向けの窓口を設置するような要望があり、今後対応できればと思う。

田口：各委員会で現状を理解する事も含めてアンケート調査を行っている。アンケート調査をやるにあたり、抽選で何名かに500円のクオカードの配布などもやってもよいかと思う。今後検討できればと思う。装具の委員会での参加人数が多いが工夫したことなどはありますか。

中野：広報の方法は既存のもので対応した。ニーズが高く苦勞なく集客出来ている。

【職能委員会】

新分野開拓委員会

乙戸：新しい分野の開拓と立ち上げの準備を行っています。新しい分野について募集はしているが現在は検討していない。今後の課題としては、学校保健のように日本理学療法委員会との連携が必要な委員会もありますが、まずは埼玉県士会の会員からアイデアを頂くために来年度は定

期的にアンケートの実施をしていきたいと思う。委員会の立ち上げに関しては、神経難病リハビリテーション推進委員会が立ち上がった。委員長や委員、会計などは決定している。

訪問リハビリテーション振興委員会

渡邊：研修会は計画通り行っています。活動内報告についてはHPを検討している。

災害対策委員会

吉田：災害対策委員会では、7つ行っている。県内のリハビリテーション専門職向け研修会の開催では、参加者の増加が難しい。改善策としては災害リハビリのPR動画の流す場所を作る事を検討している。他の研修会などでPR動画を流させて頂き参加人数を増やしていきたいと思う。災害時の連絡方法の検討については、参加者に対して訓練目的に災害派遣依頼メールを送り予定です。災害連絡として最近あった災害の報告などを行えればと思っている。災害リハビリテーションについての啓蒙活動としては、静岡県災害に関しては三役に報告をさせて頂いている。フローチャートの作成も行っている。

職業倫理委員会

水田：現状では不祥事は上がってきていないため委員会は開催していない。研修会は弁護士を講師として予定している。

10年後の理学療法を考える委員会

原嶋：計画通り事業が行えている。来年度は小川克己議員の2回目の選挙がありますので会員に向けて活動できればと思う。

新型コロナウイルスにおける在り方検討委員会

渡邊：研修会については講師の方を選定しながら計画している。マニュアル作成をしている。

令和4年度重点課題について

南本会長から資料に基づき令和4年度重点課題についての説明があった。

南本：LINEWORKSにアップするので次年度の事業計画案の時に組み入れていただきたい。埼玉県で行う事業にケアラー宣言があり、岡持副会長が文章をまとめて地域包括ケアと共同でケアラー宣言に参加することになった。そこでケアラーの方達を支援していく形になっている。皆様と協力しながら進めていきたい。また埼玉県では10月1日からエスカレーター条例が成立した。担当者で連絡をさせて頂き、当士会でも啓発をする事になった。広報局や事業局と連携しながら啓発できればと思う。重点目標についてはLINEWORKSで意見を頂ければと思う。

水田：来年度の事業計画と予算案の提出期限が12月6日。LINEWORKSで詳細は案内する。

以上をもって議案の審議等を終了したので、22時08分、議長は閉会を宣し、解散した。
この議事録が正確であることを証するため、出席した代表理事及び監事は記名押印する。

会長 _____ 印

監事 _____ 印

監事 _____ 印